

女性の力が静岡を変ええる！

静岡商工会議所専門サービス部会(部会長・鈴木一雄、部会員・1204社)では平成28年11月22日、静岡商工会議所静岡事務所会館4Fで、静岡市で活躍する女性経営者3名をパネリストに招き、第6回女性経営者によるシンポジウム「女性の力が静岡を変える！」を開催しました。

会場には、起業をめざす女性など40名が集まり、シンポジウム終了後にはパネリストとのふれあい交流会を行いました。その内容の一部を紹介します。(文責企画広報室)



出席者(写真順)

(株)ヘルエック・プラス
代表取締役 小川陽子さん

専門サービス部会 副部会長
地域活性化戦略研究所 所長 花井 孝さん

さくらや静岡店代表 金指佳子さん

専門サービス部会 部会長
(財)静岡経済研究所 理事長 鈴木一雄さん

アーカイブラボ 代表 坂本洋代さん

女性が元気で はつらつとして いる地域企業は成長する

鈴木 今回のシンポジウムは「女性の力が静岡を変える！」というテーマですが、本当にそう思います。女性が元気で はつらつとしている地域・企業は成長すると思います。数年前に福岡市に行つて、街を歩いていたら、活気があつて、にぎわいがある。なぜかと思まわしていたら、女性の数が多いの

です。調べてみると、政令指定都市のなかで、20代30代の女性の比率が15.9%と一番高い都市が福岡市でした。静岡市は最下位で11.6%。若い女性の比率が4.3%も低い。この差が街のにぎわいに現れていると感じました。静岡市では若い女性の人口減少が問題になっていますが、そういう意味でも、今回のシンポジウムを参考にしたいだけではないと思います。



専門サービス部会 副部会長
地域活性化戦略研究所 所長
花井 孝さん
静岡に若年女性を増やすと
には、女性が働ける場
イケメン男性が必要。

花井

時代は女性への期待が高まっています。民進党は女性党首だし、東京都知事も横浜市長も台湾も英国もドイツも女性の首長です。女性の感性・美意識が時代を変えていくかもしれない。静岡市から若年女性が流出しているのは、女性が働ける場所がないからです。働ける場所がないなら、自分で起業して、自分好みのビジネスを始めればいいのかということ、今日お招きした3名は、自分で起業されました。はじめに、いまのビジネスを始めた経緯をおたずねします。

金指 私はオクシズの玉川の出身で、常業

学園高校、常業大学を卒業して、業界ナンバー1のところで働きたいと思い、日本マクドナルドに入社し、11年間働きました。その間、2回の産休と育休を取得しながら店長を務めました。福利厚生が良くて、時短勤務も利用できるし、子育てしながら、申し分のない待遇だったので、ゴールデンウィーク、年末年始に子供と一緒に過ごせず、親に預けたり、保育園に頼ったりしなければならなかったので、長男が小学校に入學した時に退職し、3年間は主婦をしています。9歳、6歳、1歳の子供がいます。

子供が1歳になったら、子育てを最優先にしながらも、何かやりたいと考えていました。会社勤務時に、泣いている病気の子供を置いていかなければならない切ない思いを何度も経験しているので、自分で起業するしかないと思っていました。今年2月、テレビで「さくらや」を知り、すぐに高松市の会社に連絡を取り、見学に行き、パートナー契約を結び、開店の準備をし、長男の夏休みが終わる8月31日に、お店をオープンしました。

坂本 以前はグラフィックの制作会社でパ

